

すべての非正規労働者の処遇改善を求める集会アピール

連合は、3月3日要求実現集会を開催し、各労組が月例賃金の賃上げにこだわって交渉し、「日本経済の好循環」実現をめざすこと、中小企業で働く仲間や非正規雇用の仲間をはじめ、すべての働く者の処遇を「ソコアゲ」する決意を確認した。

そして本日、連合東京は、先行組合のヤマ場前の重点交渉期にこの集会を開催した。大手企業各社がその産業をリードする回答を期待しつつ、同じ職場のパート・派遣・契約社員、業務委託・請負などで働く労働者の賃上げについても、今、交渉・協議する必要があることを組織内外にアピールしたい。正社員の交渉があつて、その後に非正規の処遇について判断するという経営姿勢を糾し、同じテーブルで議論して同時の回答を迫る。今年、これまで以上に非正規労働者の労働条件を労組の責任で改善することを確認しよう。

経営サイドからはパート社員や有期、臨時従業員にも賃上げを積極検討という言葉は、残念ながら現時点では聞こえない。賃金改善は大きな利益を上げた一部の会社や大手企業だけということではない。企業規模や雇用形態に関わらず、すべての労働者に賃上げが必要だ。これまでの結果を労使ともに直視し、非正規にも「均等な賃上げ」をうったえる。こうした声を更に大きな波とすることが必要で、連合東京は構成組織に向けて、経営団体に向けて、そして多くの市民・勤労者に向けてアピールして行く。

一億総活躍を謳い、子育て充実や介護離職ゼロをめざす政府は、保育労働者、介護労働者の労働条件に正面から目を向けるべきだ。社会的に重要な役割と個人的には重い責任、厳しい労働にも関わらず、ともに全産業平均賃金から10万円も低位な賃金を是正することが必要だ。

また、改正労働者派遣法では3年の派遣期限制限後の雇用安定措置やキャリアアップ措置、均衡処遇措置など、その周知と内容徹底で派遣労働者の雇用、労働条件の改善に派遣先労働組合として果たせる役割がある。この集会では、特に派遣労働者、保育・介護で働く労働条件改善を国民的課題として、連合東京各組織が政府と東京都に強く求めていく行動の展開を確認した。

団結による力の発揮、当該労働者の結集が労働条件改善のために必要だ。パート、契約・派遣社員、請負労働者にも労働組合が必要で、加入の働きかけを強化しよう。

わたしたちは、元気よく働き、この2016春季生活闘争で労働条件改善を求め、納得いくまで取り組みを進めることを宣言する。

2016年3月7日

「すべての非正規労働者の処遇改善を求める集会」